

(健康・医療)

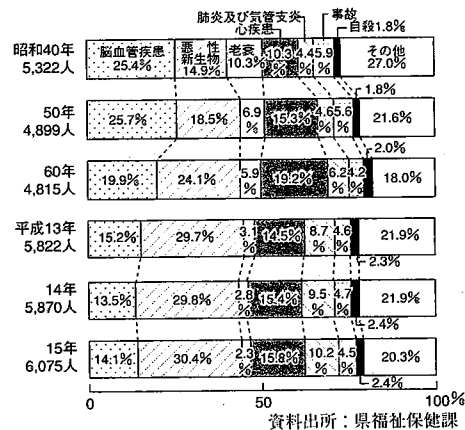
本県の医療水準は、人口10万人当たりで見ると、医師数、保健師数などで全国水準を上回っています。

平成15年中の死亡数は6,075人で前年に比べ205人増加しています。内訳は、三大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）で、全体の60.3%を占めています。

また、三大死因別死亡数の推移を見ると、悪性新生物は1,845人、心疾患は961人、脳血管疾患は857人となり、合計で216人の増加になりました。

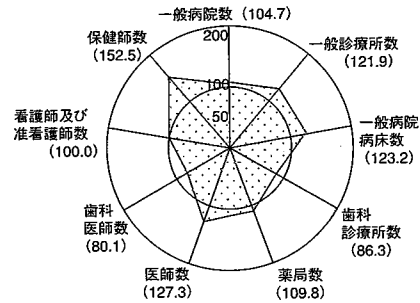
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
平均寿命(男)	77.39歳	31	77.71	12
平均寿命(女)	84.91歳	16	84.62	12
医師数(人口10万人当たり)	249.2人	5	195.8	14
保健師数(〃)	48.1人	6	30.7	16

死因別死亡数の割合

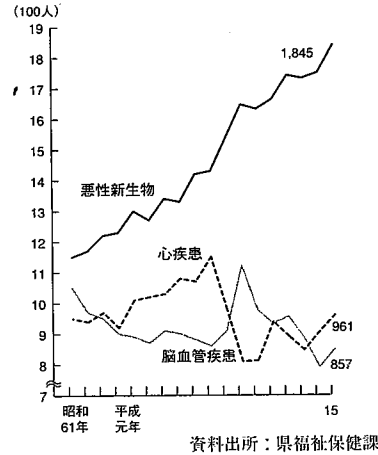


資料出所：県福祉保健課

全国を100とした場合の鳥取県の医療体制  
総務省統計局「統計でみる県のすがた2005」のデータより



三大死因別死亡数の推移



資料出所：県福祉保健課

医療施設等の状況

単位：施設、床、所、人

年次	病院数	診療所	病床数		歯科診療所	薬局	医師	歯科医師	看護師及び准看護師	保健師
			病院	診療所						
平成11年度	44	519	8,741	1,511	257	239	-	-	-	-
12	46	538	9,105	1,486	271	243	1,574	337	6,509	254
13	46	548	9,092	1,485	269	250	-	-	-	-
14	46	555	9,080	1,465	270	256	1,651	355	6,855	281
15	46	552	9,051	1,269	271	264	-	-	-	-

(注) 医師、歯科医師、看護師及び准看護師、保健師については隔年調査

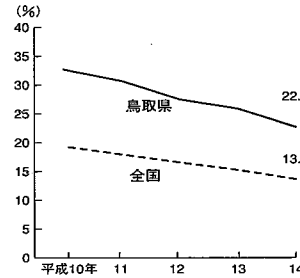
資料出所：県医療事業課

(衛生)

鳥取県の下水道普及率は、平成14年度で49.0%で、年々増加している。また、し尿処理人口比率は、平成14年度で22.7%であり、年々減少しており、下水道への移行が見てとれる。

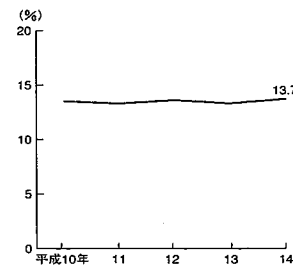
ごみ処理総排出量は、平成14年度244,725トンで、リサイクル率は13.7%であり、ほぼ横ばい状態が続いている。

し尿処理人口比率



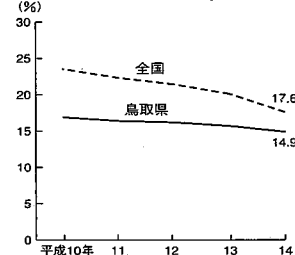
資料出所：総務省統計局「統計でみる県のすがた」

リサイクル率



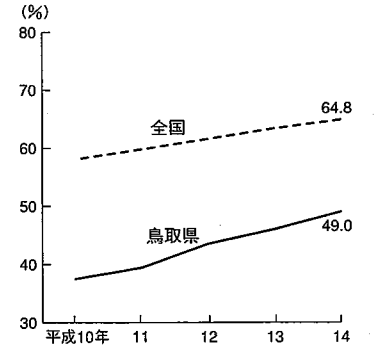
資料出所：県循環型社会推進課

ごみ埋立率



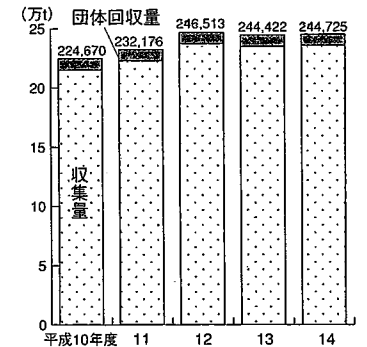
資料出所：総務省統計局「統計でみる県のすがた」

下水道普及率



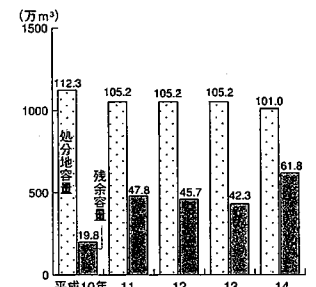
資料出所：総務省統計局「統計でみる県のすがた」

ごみ処理総排出量



資料出所：県循環型社会推進課

埋立処分地容量及び残余容量



資料出所：県循環型社会推進課